

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-48 施設整備事業(終末) □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
					544	七里ガ浜浄化センターの改修事業	
主管課	浄化センター	関連課	下水道課				
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	耐用年数を越えた七里ガ浜浄化センターの再構築を図る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	1,206,650千円	1,040,460千円				
	(国・県)	647,025千円	593,196千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	559,625千円	447,264千円				
	人員配置数	2.0人	2.0人				
	人件費	17,877千円	17,841千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	1,224,527千円	1,058,301千円	対象者1人は水洗 化人口で計算 20年度:70,348人 21年度:70,551人	指標と評価		
	市民1人当 りの経費	6,931円	5,997円		指標		
	対象者1人 当りの経費	17,357円	15,044円		評価		
	ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 改築工事は既設設備を運転しながら更新するため、技術的な問題が発生する。 (2) 改築に伴う国庫補助業務等、業務量の増加。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 毎週、工程会議を実施し、進捗状況、施工方法・時期、仮設計画等について、市、日本下水道事業団、施工業者、運転管理委託業者で綿密な打合せを行い問題解決を図った。 (2) 経験豊富な日本下水道事業団等を活用、また、改築受託業者にもある程度の責任分担をさせることにより、市職員の立会業務の低減を図った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・改築更新が完了するまで、老朽化した未改修施設の維持に万全を期す。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・機械・電気設備の改築更新を補助事業で計画的に実施していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性	
B	有	・施設機能の確保に努め、適正な維持管理を実施する。			B	有	
課長名		浄化センター所長 原 秀広		部名・部長名		都市整備部 山内廣行	